

# KEIYU

蹊友會  
新聞

2026  
No.48

Osaka Seikei Gakuen Alumni Association  
Community Newspaper



## EXPO 2025 × OSAKA SEIKEI

大阪成蹊学園の学生たちが彩る大阪・関西万博の舞台



Member information change

会員情報変更のお願い

住所・氏名等の変更や郵送物の送付停止に関する  
手続きは P15 をご覧ください



大阪成蹊学園蹊友会  
会長 荻田 一子

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は蹊友会の活動に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、歴代の先輩方のお力添えにより、現在では会員数12万人を擁する組織へと発展し、会員の皆様は幅広い分野でご活躍されております。また、高校・大学におきましても、厳しい競争環境の中にありながら、入学者数は年々増加し、新キャンパスの建設を控えるなど、着実な発展を続けております。私たち蹊友会といたしましても、役員一同心を一つにし、時代の変化に柔軟に対応しながら、同窓会のあるべき姿を考えた活動をクリエイティブに進めてまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



学校法人大阪成蹊学園  
理事長 北本 暢  
(大阪成蹊学園蹊友会名誉会長)

日頃より蹊友会のみなさまには、大阪成蹊学園の取組みにご支援を賜り、心から感謝申し上げます。大阪成蹊大学では、2027(令和9)年に予定している「経済学部※」の開設、および阪急相川駅前キャンパスに誕生予定の新校舎「West館」の建設に向け、本格的に準備を開始いたしました。

また昨年より、教職員との面談を進めております。本学園の4つの課題として位置づける「学生募集」「財政政策」「教学クオリティ」「コンプライアンス」について、一人ひとりが現状と課題を認識しながら目の前の業務に取り組み、高い到達点をうみだすことができるよう、対話を深めてまいります。

今後もキャンパスや学部等の新設・改組といったハード面の改革を継続するとともに、教育の質をさらに高めるための取り組みを一層推進してまいります。本学園の不断の前進に変わらぬご理解とご協力を賜り、共に歩んでいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※仮称・設置構想中。計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。



びわこ成蹊スポーツ大学  
学長 黒澤 毅

平素より本学の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。2025(令和7)年6月28日付で学長に就任いたしました黒澤毅と申します。私は、本学の前身とも言うべき短期大学の頃より、この比良の地にご縁をいただいております。その歴史と伝統を継承しつつ、2003(平成15)年に全国で唯一「スポーツ」を冠する大学として開学し、今年で23年目を迎えました。

昨今の生成AIの進化により、人間が備えるべき力が問われています。このような時代だからこそ、本学園が掲げる建学の精神は、ますます時代の要請としても高まると確信しております。建学の精神と行動指針である「忠恕」を胸に、スポーツが持つ可能性を追求し、学生と共に学び、成長する大学を目指します。地域に愛され、信頼される大学であり続けるため、教職員一同努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

Sharing memories, Shaping our future.

## 2027年4月開設 経済学部 Faculty of Economics

これからの社会を  
動かすのは、  
人の「ココロ」だ

心理学 × 経済学 = 行動経済学

経済も、社会も、人の「ココロ」が  
生み出す「選択」と「行動」できている

なぜ今、行動経済学を学ぶべきなのか？

世界中の企業が  
行動経済学に注目！

ビジネスだけではなく、  
行政にも活用！

さまざまな分野で  
「行動経済学を学んだ人材」  
の需要が高まっている！

日常生活でも  
役に立つ！

大阪成蹊大学 経済学部※ではこう学ぶ！

「1年次から、全員が」  
行動経済学を学ぶ！

他大学では2年次以降からの開講であったり、特定の専攻の学生だけが学ぶことも多い行動経済学。本学では4年間の学びの“ベース”として、1年次から全員が学びます。

行動経済学を「学んで、使う」、  
体系的な科目構成！

1つの科目だけではなく、基礎から演習まで段階的なカリキュラムで行動経済学を学びます。実際に課題や実験に取り組むことで、行動経済学の面白さを体験できます。

心理学系の  
科目も一緒に学ぶ！

行動経済学は、「心理学」とも関わりが深い分野。「感情心理学」や「社会心理学」などの心理学系科目をあわせて学ぶことで、さらに理解が深まります。

あわせて学ぶ「ゲーム理論」で、  
戦略的思考力が身につく！

ビジネスでも応用される「ゲーム理論」とは、相手の行動を予想し意思決定する、いわば「駆け引き」の理論。行動経済学とセットで学んで、心と戦略を読む力を身につけます。

※仮称・設置構想中。計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

## 2027年、新校舎誕生予定！ 抜群のアクセス×最新の学習環境で学べる



阪急相川駅より  
徒歩すぐ！

※完成イメージ

2023年に開設した駅前キャンパスに、  
2027年、新たな校舎が誕生。  
学びの環境がさらに充実します。

詳しくは  
こちら！



univ.osaka-seikei.jp/lp/econ/

2025.12.7 (sun)

# 蹊友会総会 REPORT

大阪成蹊大学 駅前キャンパスこみちホール

令和7年12月7日(日)、令和7年度「蹊友会総会」を開催いたしました。

当日は冬季ながら穏やかな天候にも恵まれ、全国各地より約200名の会員の皆様にご参集いただきました。久しぶりに顔を合わせる仲間たちとの再会に、会場は自然と笑顔が溢れていました。



続いて、菟田一子会長より、日頃からの蹊友会活動へのご支援に対する御礼と、遠方よりご出席いただいた会員の皆様への感謝の意が述べられました。

特別講演には、阪神タイガース元監督で、現在は野球解説者・野球評論家として幅広くご活躍中の矢野燿大氏をお迎えし、ご講演を賜りました。監督として選手をどのように導いてこられたのか、良いチームとは何か、また組織をいかに活性化させていくかなど、豊富なご経験に基づく貴重なお話を伺うことができました。具体的なエピソードを交えた語り口に、参加者は終始熱心に耳を傾けていました。

中でも「ピンチはチャンス」というお言葉は、スポーツの枠を超えて日常生活や人生にも通じる示唆に富んだ内容であり、困難な状況に直面したときの捉え方や心の持ちようについて、改めて考えるきっかけとなりました。講演を通して前向きな気持ちが会場に広がり、明日への活力を与えられる時間となりました。

講演後の質疑応答では多くの質問が寄せられ、矢野氏が参加者との距離を感じさせない和やかな雰囲気の中、丁寧にお答えくださる姿が印象的でした。

本総会は、会員相互の親睦を深めるとともに、今後の蹊友会活動への思いを新たにす、実り多い機会となりました。当日ご参加くださった皆様、ならびに日頃より本総会を支えてくださっているすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

蹊友会役員 赤山 朝郎



**AKIHIRO YANO**

野球評論家 野球解説者

**矢野 燿大氏**

OSAKA SEIKEI GAKUEN

総会プログラム

- 開会 大阪成蹊女子高等学校 コーラス部 学園歌演奏
- 大阪成蹊学園蹊友会 菟田会長挨拶
- 議事
- 特別講演  
「選手が教えてくれた、人が持つ無限の可能性」  
講師 矢野 燿大氏



総会の開会にあたり、大阪成蹊女子高等学校コーラス部と吹奏楽部による学園歌の演奏映像がプロジェクターにて上映されました。清らかで華やかな歌声に包まれる中、会場には懐かしい学園歌を口ずさむ参加者の姿も見られ、和やかな雰囲気のもと式典が始まりました。

## 参加者アンケートより

卒業後初めて母校を訪れた方や、総会を通じて久しぶりに友人と再会された方など、参加者からは懐かしい思い出や喜びにあふれた感想が多数寄せられました。参加者の中には長年、矢野さんのファンだった方も多く、母校に憧れの矢野さんが来られることをとても楽しみにされていた声も聞かれました。



・50年ぶりに学園歌を歌い、懐かしかったです。  
・友人の誘いもあり、参加してよかったです。学園歌の歌詞が大好きで、誇りに思っています。



「おお～成蹊～われらが若き～♪」

・矢野さんのお話がすべて心にぶっさりました！諦めたり、こんなものかと思ってしまう日々でしたが、自分も変わるかもと思って明日から頑張ります！一日の大切さを感じて生きていきたいと思いました。

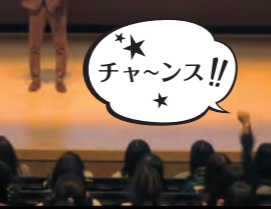
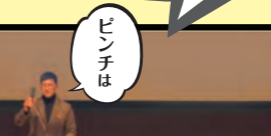
- ・大好きな矢野さんにまさか母校でお会いできるとは思っても感動しました。
- ・勤務している高校の生徒たちがよく「人生おもんない」「どうせできへん」等言っています。矢野さんのお話を生徒たちにしたいと思っています。私も生徒の可能性を信じていきたいです。



- ・奥様やお子様を大切にされていて、「私の理想の旦那様だ!!」と思いました。
- ・自分の仕事に対する姿勢に激励をいただいた気分です。明日から頑張ります。
- ・反抗期の息子の意見を尊重し、寄り添ってほしいです。息子たちに感謝されるような人生にしようと思います。
- ・矢野さんの人柄、改めて素敵だと感じました。選手のお話や映像もとてもよかったです。じんこるものがあり、幸せに気付くことができた講演でした。



- ・「できるかも」を自分の中でドンドン育てていきたいです。
- ・本当に感動しました。ピンチはチャンス！といえる自分でいたい子供たちにもそう伝えたいです。
- ・大の阪神ファンで特に矢野さんが大好きでした。もちろん今も！明日からの仕事、ピンチはチャンス！で頑張ります！



### 令和8年度 総会について

蹊友会事務局では令和8年度総会の開催に向けて準備を進めております。内容が決まりましたら、改めてお知らせいたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

# Osaka Seikei Stars 大阪成蹊の星

大阪成蹊学園学生達の目覚ましい活躍をご紹介します

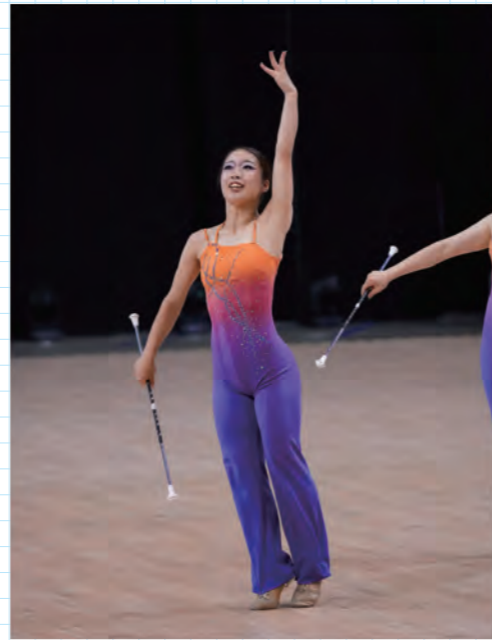
## BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

### バトントワーリング 世界大会で金メダル!

昨年8月にイタリア・トリノで開催された「2025IBF世界テクニカルバトントワーリング選手権大会」のトワールチーム部門に出場し、優勝することができました。幼少期から目標にしていた世界の舞台に立てたことは、とても貴重な経験となりました。また、優勝という最高の成績を収められたことで、自信にも繋がる大会となりました。この経験を活かし、新たな一歩を踏み出すことができましたので、もう一度世界大会で優勝できるよう精一杯頑張ります。



びわこ成蹊スポーツ大学  
スポーツ学部 3年次 桑元 結加



### 卓球部 創部以来初! 全国大会出場!

創部以来初となる全日本大学総合卓球選手権大会の本選に出場することができ、2023年から掲げてきた卓球部のスローガン『びわこから全国へ』を実現することができました。大会は2回戦で敗戦してしまいましたが、相手の打点の速さや球威が凄く、全国のレベルの高さを知る良い経験となりました。この経験を活かして関西や全国でもっと勝てるようにこれからの練習を積み重ねていきたいと思います。



びわこ成蹊スポーツ大学  
スポーツ学部 3年次 田中 統也

### アルティメット部 世界大会準優勝!



「全国優勝、そして再び世界の舞台へ!」という思いを胸に、これからも全力で頑張ります。

U24世界大会では、海外の選手たちと本気でぶつかり合う楽しさを感じ、「アルティメットに出会えて良かった」と心から思える貴重な経験となりました。結果として準優勝



びわこ成蹊スポーツ大学  
スポーツ学部 4年次 平野 真衣

## OSAKA SEIKEI GIRLS' HIGH SCHOOL

### ギターマンドリン部 全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクール 努力賞受賞!



今年度は全国大会30年連続出場賞として、記念にトロフィーをいただきました。長い歴史を持つ大阪成蹊女子高等学校ギターマンドリン部のメンバーは、ほとんどが初心者から楽器を始めています。学年やコースを越えて仲が良く、コンクールや学校行事に向けて、みんなで切磋琢磨しながら日々練習を重ねています。私自身は、2年生の夏に部長に選んでいただいてから、多くの人と関わる機会が増え、さまざまな意見を取り入れながら行動できるようになりました。部活動を通して成長できたと感じています。支えてくださっている方々への感謝を忘れず、これからも努力していきたいです。

大阪成蹊女子高等学校  
令和8年3月卒業 渡部 栞那

### 美術科 高校総体ソフトボール競技プログラム表紙部門 最優秀賞受賞!



高校総体のポスター図案で最優秀賞を受賞しました。まさか自分の作品が選ばれるとは思っていませんでしたので、非常に驚きましたが、同時に挑戦して良かったと心から感じています。初めて自分の意志で応募した作品を評価していただいたことは、大きな励みとなり、自信につながりました。この経験を糧に、今後も制作に挑戦していきたいです。

大阪成蹊女子高等学校  
令和8年3月卒業 西海 玲

### バレエ 全国大会出場! カナダバレエ留学



バレエコンクールで入賞した際のスカラシップを受けて、カナダにバレエ留学しました。舞台のような広いスタジオでレッスンを受ける中で、空間の使い方や音の取り方、身体を大きくしなやかに、かつ指先まで抜かりなく使うことの大切さを学び、自分だけの踊りを探求する日々を送りました。外国での生活を通して文化の違いやコミュニケーションの難しさを痛感し、多様な考えを育む環境の中で将来の目標や考え方のヒントを得ることができました。カナダで過ごした経験が思い出に留まることなく、表現者として人の心を動かす踊り手になりたいです。

大阪成蹊女子高等学校 2年 上村 紋心彩

### データサイエンス学部 学生起業



データサイエンス学部に入塾して、様々な授業や課外での活動を通してデータの重要性や活用方法を学びました。3年生の時に起業したWhiTech(ホワイトテック)についても、「日本をもっとDXでよくしていきたい!」「データを活用して新たな価値と感動を与えたい!」そう思って活動しています。今後も日々精進して、私にできる精一杯のパフォーマンスを提供していきます。

大阪成蹊大学  
データサイエンス学部 4年 吉村 佑紀

### ピアノ 東京国際コンクール出場!



東京国際コンクールで3位(最上位)に入賞できたひとつに、大阪成蹊女子高等学校の音楽コースで幅広くさまざまな視点から音楽を学んだことが、自分のピアノ演奏に活かされたからだと思います。これからはさらに深く音楽と向き合い、支えてくださる方々への感謝を大切にしながら、人の心に寄り添えるピアニストを目指して努力を続けていこうと思います。

大阪成蹊女子高等学校  
令和8年3月卒業 山本 莉子

### 芸術学部 「かんみらMURAL」アーティストに起用



UNKNOWN ASIA 2024にてスポンサー賞、レビュー賞を受賞し、関西みらい銀行の壁画制作やマクセル株式会社のビジュアル制作など、自分の表現が社会とつながる貴重な経験させていただきました。卒業後は就職し、社会人として自立しながら制作を継続していくことが目標です。仕事と絵を両立させ、いつかは絵で生きていくことを夢見て、活動を広げていきたいです。

大阪成蹊大学  
芸術学部 令和8年3月卒業 波多野 ひなた

### バトントワーリング部 世界大会出場! 個人で銀メダル! 個人で5位入賞!



2025年IBTF世界テクニカルバトントワーリング選手権大会に出場し、ソルトワール(1本のバトンで演技する種目)で第2位という素晴らしい成績を収めることができました。この結果は、過去に出場した世界大会の中でも最高の成績です。こうした成果を出せたのは、学校の多大な支援や応援のおかげだと深く感じています。期待に応えることが私の最大の目標だったので、少しでも恩返しできたように思い、非常に嬉しく感じています。今後は、残り少ない学生生活の中で「世界一」になれるよう頑張ります。

大阪成蹊大学  
経営学部 4年 木下 将希



2025年IBTF世界テクニカルバトントワーリング選手権大会に出場できたことは、大きな誇りであり、多くの学びを得る貴重な経験となりました。バトントワーリング部での日々の練習を通して技術面だけでなく、精神面でも成長を感じることができました。大学生活との両立の中で、自己管理能力も身につきました。今後は、支えてくださった顧問の先生方や家族への感謝を忘れず、さらなる技術向上を目指して努力していきたいです。

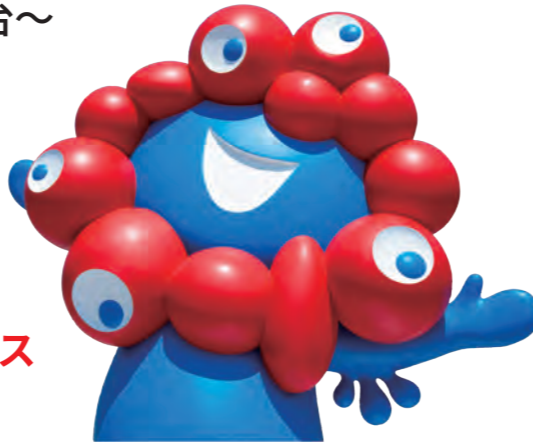
大阪成蹊短期大学  
経営会計学科 2年 上之坊 空斗

## OSAKA SEIKEI UNIVERSITY & COLLEGE

# EXPO 2025 × OSAKA SEIKEI

～大阪成蹊学園の学生たちが彩る大阪・関西万博の舞台～

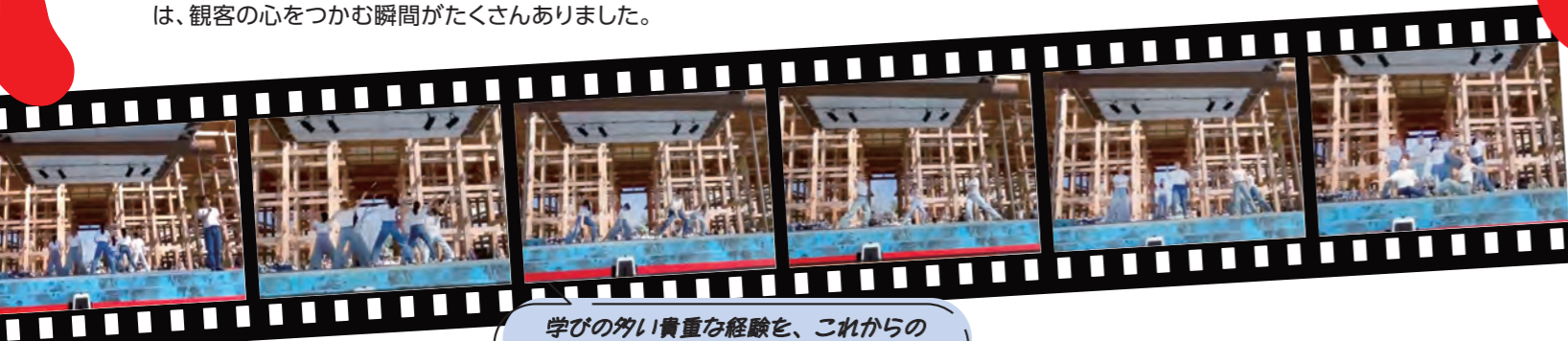
2025年4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博。世界中から訪問者を迎え、さまざまな文化や技術が集結する場となりました。この特別な舞台で、大阪成蹊学園の学生たちが素晴らしいパフォーマンスを披露しました！多くの観客の前で会場を盛り上げる姿はまさに感動的。彼らの活躍を特集し、万博の熱気をお届けします。



## 4/27 SUN

### ～未来へつなぐ輝く一歩を～パフォーマンス ポップアップステージ

関西万博開幕から2週間。バトントワリング部は大阪・関西万博の「ポップアップステージ西」にて、テーマ「未来へつなぐ輝く一歩を」でパフォーマンスを披露しました！関西のバトンチーム18チームが集まり、観客の皆様へ素晴らしい演技を届けました。息の合った合同パフォーマンスでは、観客の心をつかむ瞬間がたくさんありました。



学びの多い貴重な経験を、これからの活動にしっかり活かしていきます！

## 7/28 MON

### ～真夏の陣～次世代パフォーマンス EXPOアリーナ「Matsuri」

バトントワリング部 ♪Shake in off ♪Brand New Day  
チアダンス部 GRACE

「大屋根リング盆踊り」が行われたこの日は、来場者数13万人！EXPOアリーナ「Matsuri」にて、バトントワリング部とチアダンス部が「次世代パフォーマンス」として華やかな演技を披露しました。真夏日の中、観客の皆様の前で自信に満ちたパフォーマンスを行い、会場は大いに盛り上がりました。観客の応援が力となり、学生たちの笑顔が輝いていました。

大阪成蹊大学の代表として、とても貴重で大きな舞台に立たせていただき、良い経験ができました♡



## 9/5 FRI

### EXPO 2025 ～秋の陣～ EXPOアリーナ「Matsuri」

吹奏楽部 Mugen no Mirai ～OSB発、無限に広がる未来へ～  
コーラス部 UTAの祭典！EXPO2025秋

大阪府内市町村の観光大使や、実力派アーティストたちのパフォーマンスが披露された大阪ウィーク秋の第1章として、吹奏楽部とコーラス部が出演。前日までの台風の影響が心配されましたが、パフォーマンス中は快晴に恵まれ、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。吹奏楽部は「Mugen no Mirai」をテーマに、コーラス部は「UTAの祭典！」をテーマに、それぞれの魅力を表現しました。



こんなに大きな会場での演奏は今までに体験したことがなかったのでとてもいい経験になりました！

天候があやしまれる中、本番は晴れ、多くのお客様に演奏を聴いていただけてとてもうれしかったです\*

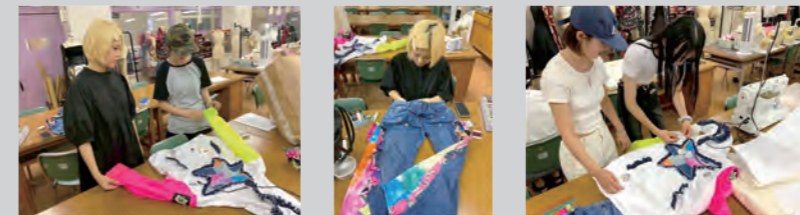
## 8/8 FRI

### アダプティブファッションショー EXPOアリーナ「WASSE」

大阪成蹊短期大学 生活デザイン学科2年の学生3名が制作した衣装がアダプティブファッションショーに出展されました。生活デザイン学科では2年前から日本アダプティブファッション協会と協力し、障害を持った人に向けたファッションを提案、ファッションショーに参加する取り組みを実施しています。



2024年に開催されたアダプティブファッションショーの様子



**アダプティブファッションとは**  
障害の有無や年齢、体型、体の状態などに関わらず、誰もが快適かつおしゃれを楽しめるようにデザインされた衣服やアクセサリ。着脱のしやすさや動きやすさを重視し、個々のニーズに応じた工夫が施されています。

大阪・関西万博という特別な舞台で、多くの学生が自らの力を発揮し、貴重な経験を積むことができたことは、彼らにとって特別な思い出となるでしょう。この機会を通じて、さまざまな学びや成長があったことを嬉しく思います。今後も、彼らのさらなる挑戦を見守り、応援していきたいと思ひます。

各学部・クラブのSNSにはパフォーマンス動画等も投稿されています。ぜひそちらもご覧ください！



## TORU SAKAMOTO

長崎県立壱岐高等学校 野球部監督  
**坂本 徹**

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部  
生涯スポーツ学科 地域スポーツコース  
<平成19年3月卒業>



## YUTA NAKANISHI

大阪市教育委員会事務局指導部  
**中西 勇太**

大阪成蹊短期大学  
児童教育学科初等教育学専攻  
<平成19年3月卒業>

### 挑戦の始まり

私の本格的な挑戦は高校から始まりました。小学校ではソフトボールとサッカー、相撲を経験し、中学校ではバレーボール部に所属しながら陸上も経験しました。しかし、高校ではこれまで経験のない硬式野球に挑戦したいという強い思いを持っていました。理由としては、私の出身地が長崎県松浦市にある小さな離島（現在は離島架橋地区）であり、行えるスポーツにも限りがあったからです。当然、島の学校には野球部がなく、高校からしか野球を始められないという現実がありました。しかし、今改めて思うと、ここから人生における私の挑戦が始まり、挑戦を楽しむことにもつながっているように感じます。

### 仲間との出会い

びわこ成蹊スポーツ大学には3年次編入で入学しました。1期生として、先生方や事務関係者の方々には大変お世話になった記憶があります。当時は本当にありがとうございました。

私は3年次から硬式野球部に所属しました。同級生の仲間は自分たちで硬式野球部を立ち上げ、練習環境の整備や練習計画を立て、リーグ戦も2部からスタートして3年次には1部へ昇格するなど、彼らのものすごいパワーと努力に感銘を受けています。なにより、当時の仲間との絆は非常に強く、共に過ごした時間は私にとってかけがえのないものです。

私自身、硬式野球には2年間のブランクがありましたが、信頼できる仲間と出会い、新たな挑戦を迎えることができ、充実した日々を過ごすことができました。また、3年次編入組の仲間との出会いも奇跡であり、長崎県の教員として高校野球部の指導者を務める今も、体づくりやトレーニング方法についてアドバイスをもらうなど、交流が続いています。

### 教員としての今

長崎県のルールにより、教員生活の中で必ず1回は6年間の離島勤務をしなければなりません。現在勤務している離島の壱岐では、これまでにない貴重な経験を積ませていただきました。一つ目は、高野連主催の「キッズベースボールフェスタ」の計画と運営です。このイベントは、高校野球連盟

の200年構想の一環として、未就学児や小学低学年を対象にティーボールなどを使って遊ぶイベントや、小中学生を対象とした野球教室、さらには「けが予防」に関するプログラムを行いました。

二つ目は、全国高等学校体育連盟の研究大会において「部活動の活性化」について研究し、発表を行ったことです。部活動の地域移行が加速する昨今、地方地区や離島、過疎地域における部活動の役割や存在意義について研究し、発表を行いました。



この2つの活動については、在学中に地域スポーツについて学んだことが活かされたと感じています。

### 目標（夢）の実現

私が教員を目指した一つの目標である「指導者として甲子園出場」を2025年春に達成することができました。ここに至るまでには、大学をはじめ多くの人との出会いや学びが活かされ、ご協力・ご声援、ご支援いただいた方々のおかげだと感じています。学生時代はもちろん、社会人になった今も、夢を持つこと、目標を立てること、挑戦することは、自身の永遠の学びや成長につながっています。これからも一教員、一競技指導者として学びを伝え、ステップアップしていきたいと思っています。



挑戦し続けることの意義

### 短大での日々が築いた教育者としての土台

私は平成19年に大阪成蹊短期大学児童教育学科初等教育学専攻を卒業し、現在は大阪市教育委員会事務局指導部に勤務しています。短大時代を振り返ると、日々の学びだけでなく、仲間との交流や多様な経験が、今の仕事につながっていると実感しています。

入学後は、通常4年間で履修するカリキュラムを2年間で学びきる必要があり、とにかく毎日が勉強漬けの生活でした。9時から18時まで授業や実習が続き、放課後は教員採用試験の勉強や、幼稚園教諭免許取得に必要なピ

アノ練習に励みました。仲間と自主的に勉強会を開き、互いに教え合いながら過ごした日々は、決して楽ではありませんでしたが、大きな充実感がありました。

当時、児童教育学科は女子学生が約9割を占め、男子学生は1割程度と少数派でした。その分、男子学生同士の結束力は強く、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨しながら教師への道を歩んできました。特に、将来教員となった際にPTAのソフトボール大会へ参加できるよう、「ソフトボールサークル」を立ち上げ、楽しみながら教師としての準備を進めたことは、今でも印象に残る思い出です。  
**小学校教員として歩んだ成長の日々**

卒業後は、大阪市立堀江小学校に赴任し、2年間の講師期間を経て教員採用試験に合格しました。その後、通算6年間堀江小学校で教員として勤務し、若手職員として先輩方の背中を必死で追いかける毎日でした。初めて



担任を任された際には、児童一人ひとりの人生に関わる責任の重さに戸惑い、悩むこともありましたが、それ

でも子どもたちと向き合い続けた日々は、今の私の原点となっています。初めて卒業させた子どもたちとは今でも交流があり、当時の思い出話をする時間が私にとって何よりの幸せです。

その後、大阪市立天王寺小学校に赴任し、ミドルリーダーとして学校を支える役割を担いました。教頭として学校運営に携わる中で、創立150周年記念行事も経験し、子どもたち、教職員、保護者、

地域の皆さんとともに楽しいイベントを企画・運営しました。多くの人と力を合わせて学校をつくる経験は、教育の持つ力を改めて実感する貴重な機会となりました。PTAのソフトボール大会では少しですが活躍できたことも思い出しています。



### 新しい挑戦と未来への展望

現在は教育委員会事務局指導部に所属し、大阪市全体の子どものために、学校現場への助言や支援を行っています。立場は変わっても、「子どもたちのよりよい学びのために何ができるか」を考え続ける姿勢は、これからも大切にしていきたいと思っています。

大学で絆を深めた友人とは今も連絡を取り合っています。多くが教員として活躍しており、それぞれが成蹊短大で学んだことを生かしている姿を嬉しく思います。将来の仕事に直結する学びと、かけがえのない友人との出

成蹊短大での学びがつかないだ教育の歩み

恩師より  
From my teacher



卒業生達との退職記念パーティー

### 開学からの歩み

びわこ成蹊スポーツ大学は2003年に開学し、今年で23年目を迎えます。私は開学当初から教員として携わってきました。それまでは教養科目（一般体育科目）を担当する大学教員として勤務しており、びわこ成蹊スポーツ大学が初めてのゼミ指導の場となりました。開学当初は3年次からのコース配属でしたが、徐々に早まり、現在は2年次からとなっています。これにより、野外スポーツの専門教育を2年間から3年間担当することとなりました。

### 学生と共に歩む教育

野外スポーツコースでは「体験から学ぶ」を基本理念に、「何事にも学生と共に自然の中で楽しむ」ことをモットーに指導してきました。2025年3月に退職を迎えるまでの22年間で、野外スポーツコースの学生約450名と関わり、そのうち約120名の中野ゼミ生と大学生活を共にしてきました。大学での授業は教室での講義に加えて、入学式後すぐのフレッシュマンキャンプ、琵琶湖でのマリンスポーツ、冬季の新潟県でのスノースポーツ実習など、1年次から野外活動が展開されます。さらに、コースの専門実習が夏季と冬季に実施され、ゼミ活動も



モンベル吉野川学外授業



白川ゼミ登山

Tomohiro Nakano



中野 友博

びわこ成蹊スポーツ大学 名誉教授

四季を通じて行われます。比良山や白山でのトレッキング、琵琶湖でのカヤックツアー、信州でのアルペンスキーなどがその例です。自然豊かな環境で学生と共に活動することで、その楽しさや厳しさを共有してきました。また、大学周辺の子どもたちを対象にした「びわこちびっこキャンプ」も、学生の学びの場の拡充を目的として18年間継続して実施してきました。

### 挑戦する勇氣と楽しむ心

これまで、さまざまな形でスポーツに関わってきた学生が、「自然環境」や「アウトドア」に興味や関心を持つきっかけになってほしい、そして「まず一步を踏み出す」勇氣を持ち、ひとつのことにとどまらず幅広くチャレンジしてほしいという思いで指導してきました。その思いを込めて、この10年ほど、ゼミ卒業生には次の言葉を贈っています。「とにかくやってみなはれ。やる前からあきらめる奴が一番つまらない人間だ。」これは第1次南極地域観測隊越冬隊長の西堀栄三郎氏の言葉です。西堀氏は南極だけでなく、世界の屋根ヒマラヤの高峰にも挑んだ探検界のレジェンドです。価値観が多様化する現代において、「まず第一步を踏み出す勇氣が必要だ」ということを伝えています。自ら行動を起こすことが重要なのです。また、長年客員教授を務めていただいていたモンベル会長・辰野勇氏は、大学での特別講義のたびに次の言葉を伝えてくださいました。「Do what you like. Like what you do.」（好きなことをやりなさい。そして、やっていることを好きになりなさい）自分が選んだ道なのだから、その道をもっと楽しみなさいという意味です。自らの選択を好きになれるかどうかで、人生観は大きく変わります。多様化が進み、持続可能性が問われる現代社会においては、目の前の課題を「自分ごと」と捉え、挑戦を続ける姿勢が求められます。そのためにも、西堀氏と辰野氏の言葉を、卒業生だけでなく学生の皆さんにも今後も伝えていきたいと考えています。

# つながる母校、広がる未来！ Home Coming Day ホームカミングデー



SEIKEI



2025. 7. 24 Thu. BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

ホームカミングデーとは、大学が卒業生を母校に招き、同窓生や恩師・在学生との交流や再会を楽しんでもらうためのイベントです。卒業生と母校の繋がりを深め、大学の近況や最新情報を共有する機会となっています。



2025年7月24日（木）に、びわこ成蹊スポーツ大学のホームカミングデーイベントが、展望レストラン「Lake Crest」で開催されました。当日は、SNS等を通じた卒業生有志による呼びかけにより、びわスポ大卒業生とご家族、教職員を含む約40名が集まりました。イベントは、黒澤学長の開会の言葉からスタートし、参加者同士の自己紹介を通じて、久しぶりの再会を楽しむ時間が設けられました。その後は軽食を囲みながら歓談タイムに入り、和やかな雰囲気の中で交流が深まりました。最後には、皆で集合写真を撮影し、素敵な思い出を残しました。



参加者からは「久々の交流が楽しかった！」という感想が多く寄せられ、イベントとしての開催でしたが、今後も多くの卒業生と交流できる機会を求める声が聞かれました。第1期生が卒業して20年を迎えることを記念し、本格的なホームカミングデーの企画も進行中です。このイベントを通じて、母校への愛着を深め、卒業生同士の学年を超えた交流の場を設けることができました。

次のイベントでも、皆さんの笑顔にお会いできることを楽しみにしています。ぜひご参加ください！



## 大阪成蹊女子高等学校 母校応援ふるさと納税制度

大阪成蹊女子高等学校は令和6年4月1日に「大阪教育ゆめ基金」の適用対象校として認定されました。いただいた寄附は教育環境の整備や特色ある教育活動の支援として活用させていただきます。本校の教育活動へのご理解をいただき、更なる教育活動の質の向上をめざすため何卒ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪  
OSAKA

### 大阪教育ゆめ基金とは OSAKA DREAM EDUCATION FUND

大阪府が実施するふるさと納税制度【Loving OSAKA納税制度】の一環として、私立・府立高校などの教育活動を支援することを目的に、令和6年度に創設されました。教育課題に的確に対応し、大阪の子どもたちの確かな「学び」と「はぐくみ」を支えるため寄附金は、指定した学校や教育機関の活動に活用され、学校教育の充実に寄与します。



#### お申込み方法

1. 大阪教育ゆめ基金ホームページよりお申込みください。
2. 「寄附金の活用を希望している学校」の項目で「大阪成蹊女子高等学校」をご選択ください。
3. その他必要項目を入力し、ご申請ください。  
※お申し込みには大阪府行政オンラインシステムへのご登録が必要です。  
※寄附の返礼品はございません。

大阪教育ゆめ基金HP  
詳しい内容は  
大阪教育ゆめ基金HPを  
ご確認ください。



#### お問い合わせ

大阪府 教育庁 私学課  
TEL: 06-6944-6956



お問い合わせフォーム ▶

## びわこ成蹊スポーツ大学 滋賀県の大学を応援しよう

滋賀県が実施している滋賀応援寄附(都道府県版ふるさと納税)の使いみちとして、2023年度より新たに「滋賀県の大学を応援しよう」というメニューが追加されました。びわこ成蹊スポーツ大学は、スポーツの価値を高め社会に求められる大学をめざし、「する・みる・ささえるスポーツ人材の育成」に取り組んでいます。

滋賀  
SHIGA

### 滋賀応援寄附 ~ふるさと納税~ SHIGA SUPPORT DONATION

滋賀応援寄附受付サイトから「する・みる・ささえるスポーツ人材の育成」を選択していただきますと、滋賀県に集まった寄附金の一部が、補助金としてびわこ成蹊スポーツ大学に支給されます。※通常のふるさと納税と同様に、滋賀県から返礼品を受け取ることができます。いただいた補助金は、本学の教育・研究活動に活用させていただきます。



大学公式  
マスコットキャラクター  
ひらやん

#### お申込み方法

1. 滋賀応援寄附(ふるさと納税)ホームページよりお申込みください。  
※各ポータルサイトや納付書にて寄附が可能です。
2. 使い道は【びわこ成蹊スポーツ大学(する・みる・ささえるスポーツ人材の育成)】をご選択ください。
3. その他、必要項目をご入力の上、ご申請ください。

滋賀応援寄附  
(ふるさと納税)  
お申込みページ ▶



滋賀応援寄附  
びわこ成蹊 スポーツ大学  
取り組み案内 ▶



## 蹊友会新聞に投稿しませんか？

蹊友会では、蹊友会新聞に掲載する、会員の皆様からの投稿を募集しております。ご寄稿いただいた原稿・お写真は、蹊友会新聞第49号(2027年4月1日発行予定)に掲載させていただきます。皆様のご投稿をお待ちしております。

#### ● 同窓会の開催報告 ●

恩師を囲んでの同窓会や久しぶりの仲間との再会、楽しいひと時のお写真にご感想を添えて、ぜひお送りください。

- 文頭に、以下の情報をご記入ください。
- ①投稿者(幹事)氏名
  - ②卒業年、学部・学科
  - ③同窓会実施日

#### ● 会員のみなさまの近況報告 ●

日々継続してがんばっていることや趣味の成果発表など、些細な出来事でも構いません。卒業してからも様々な分野でご活躍のことと思います。ぜひ新聞にて、同窓生の皆様に近況をお知らせください。

#### ● 在学時の思い出 ●

同級生との何気ない会話、思い出の食堂メニュー、寮生活での出来事、こんな授業を受けていました、など、当時の懐かしい思い出をお寄せください。

#### 投稿方法

1. E-mail info@osaka-keiyukai.jp
2. 〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3-10-62 大阪成蹊学園蹊友会事務局 宛

※いただいたお写真・原稿は返却できませんので予めご了承ください。

【投稿にあたって】  
※投稿された内容が全て掲載されるとは限りません。  
※また、校正は事務局で行い、ご寄稿いただいた方への確認は行いません。  
※いただいたお写真、原稿は、一部加工させていただきます。  
※以下のような投稿は、掲載を控えさせていただきますので、予めご了承ください。  
・営利目的と判断されるような内容  
・誹謗中傷と判断されるような内容  
・大阪成蹊学園および大阪成蹊学園蹊友会の発展の妨げとなるような内容  
・その他、掲載するにふさわしくないと思われるような内容

# 会員情報変更の場合はお知らせください

- 住所変更(市町村合併等による住所表記変更含む)
- 改姓、改名
- 逝去
- 蹊友会からのご案内送付停止をご希望の場合



### 会員情報変更 お手続き方法

#### 1 ホームページ

会員情報変更お手続き専用ページ

<https://osaka-keiyukai.jp/wp/edit/>



2. E-mail info@osaka-keiyukai.jp

3. F A X 06-6340-0727

4. 郵送先 〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3-10-62 大阪成蹊学園蹊友会事務局 宛

ホームページ以外(②③④)の方法でご登録の場合は、以下の項目をご記入ください。

1. 会員番号(宛名下に記載しているK-から始まる番号)
2. 氏名(フリガナ)
3. 旧姓(フリガナ)
4. 新住所(郵便番号含む)
5. 電話番号
6. メールアドレス(任意)
7. 卒業校・学科
8. 卒業年

※海外への送付は行っておりませんので、ご了承ください。 ※蹊友会では現在、名簿の販売等は一切行っていません。

蹊友会は、個人情報保護の重要性を深く認識し、個人情報の安全管理に努めながら同窓会活動を進めてまいります。蹊友会個人情報保護方針につきましては蹊友会ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。(https://www.osaka-keiyukai.jp/policy/) 蹊友会からの送付物にお心当たりのない方は、お手数ですが蹊友会事務局までお知らせください。

## 大阪成蹊学園 蹊友会役員

- |   |   |
|---|---|
| <名誉会長> 北本 暢 大阪成蹊学園理事長   | <監 査> 谷口 智子 平成元年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業  |
| <会 長> 藪田 一子 昭和39年 大阪成蹊女子短期大学初等教育科 卒業  | <監 査> 今里 清美 平成元年 大阪成蹊女子高等学校 卒業<br>平成3年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業                  |
| <副会長> 水津 真委 平成23年 びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 卒業<br>平成27年 びわこ成蹊スポーツ大学大学院 スポーツ学研究科 修了 | <書 記> 赤山 朝郎 平成19年 大阪成蹊大学芸術学部 卒業   |
| <事務局長> 阪本 清美 昭和58年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業                                      | <書 記> 高井 啓臣 平成23年 びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 卒業<br>平成26年 びわこ成蹊スポーツ大学大学院 スポーツ学研究科 修了 |
| <会 計> 細川 恵子 平成22年 大阪成蹊女子高等学校 卒業<br>平成24年 大阪成蹊短期大学幼児教育学科 卒業                  | <書 記> 福井 未紗希 平成19年 大阪成蹊女子高等学校 卒業<br>平成23年 びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 卒業             |

## 令和6年度大阪成蹊学園蹊友会決算報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

### 1. 収入の部

項目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	差異	備考
前年度繰越金	89,070,082	89,070,082	0	
会費収入	35,930,000	32,340,000	△3,590,000	大学・大学院 @20,000×591名 @10,000×101名 びわこ大・大学院 @20,000×319名 @10,000×7名 @0×2名 短大 @20,000×386名 @10,000×82名 高校 @10,000×452名
協力金収入	1,000,000	1,057,000	57,000	
受取利息収入	10,000	20,475	10,475	
雑収入	0	0	0	
合計	126,010,082	122,487,557	△3,522,525	

### 2. 支出の部

項目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	差異	備考
新聞発行費	12,000,000	10,052,845	△1,947,155	新聞印刷費、発送費等
通信費	300,000	149,586	△150,414	協力金お礼状送付、ネット・電話料金等
総会費	4,200,000	975,561	△3,224,439	令和6年度総会関係諸経費

項目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	差異	備考
教育・保育部会費	650,000	0	△650,000	教育フォーラム開催費
事務費	140,000	68,501	△71,499	事務局購入費、蹊友会のおしり印刷費
会議費	300,000	101,770	△198,230	役員会開催費等
慶弔費	150,000	15,000	△135,000	
記念品費	1,800,000	1,548,800	△251,200	卒業記念品費
委託料	2,800,000	1,800,000	△1,000,000	蹊友会事務局委託料
交通費	220,000	53,100	△166,900	役員交通費
使途特定寄付金	9,000,000	6,430,000	△2,570,000	学生部および強化クラブ活動支援 学園コンベンション等補助金
雑費	100,000	104,727	4,727	振込手数料 預金証明書発行手数料
広告宣伝費	650,000	275,000	△375,000	ホームページ作成、更新費
同窓会補助	6,500,000	0	△6,500,000	蹊友会親睦会活動費
支部等活動補助	2,000,000	0	△2,000,000	
将来計画積立金	3,500,000	3,500,000	0	学園周年事業積立
予備費	2,000,000	0	△2,000,000	
小計	46,310,000	25,074,890	△21,235,110	
翌年度繰越金	79,700,082	97,412,667	17,712,585	
合計	126,010,082	122,487,557	△3,522,525	

将来計画積立金 48,000,000



大阪成蹊大学  
OSAKA SEIKEI UNIVERSITY

経済学部

◆経済学科★

◆国際観光学科

- 観光ビジネスコース
- 観光ホスピタリティコース
- 観光文化デザインコース

経営学部

◆経営学科

- 経営専攻★
- 経営戦略・マネジメントコース
  - マーケティング・商品開発コース
  - 会計コース
  - 国際ビジネスコース
- 食ビジネス専攻★
- 食品開発コース
  - フードサービスコース

データサイエンス学部

◆データサイエンス学科

- 先端情報戦略コース
- スポーツ・健康データサイエンスコース
- ビジネスデータサイエンスコース

教育学部

◆教育学科

- 中等教育専攻
- 英語教育コース
  - 保健体育教育コース
- 初等教育専攻
- 初等教育コース
  - 幼児教育コース
- ◆大学院教育学研究科
- 教育学専攻（修士課程）

看護学部

◆看護学科

芸術学部

◆造形芸術学科

- アニメーションコース
- キャラクターデザインコース★
- ゲーム・CGデザインコース
- マンガ・デジタルアートコース
- 映像・ボイスクリエイターコース
- グラフィックデザインコース
- イラストレーション・美術コース
- ファッション・コスチュームデザインコース
- 建築・インテリアデザインコース



大阪成蹊短期大学  
OSAKA SEIKEI COLLEGE

◆幼児教育学科

◆調理・製菓学科

- 調理コース
- 製菓コース

◆専攻科

- 高度調理・製菓技術コース
- 製菓衛生師コース

◆栄養学科

◆生活デザイン学科

- イラスト・アニメ・デザインコース

☆構想中 ★2027年4月開設

ファミリー入試制度のご案内

ご家族（受験者から三親等以内）のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学・大阪成蹊女子高等学校）の卒業生または在籍生である方が対象となります。ファミリー入試合格者のうち、成績基準を満たす方には学費減免制度がございます。

※2027年度入試につきましては変更になる場合があります。

お問い合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 入試広報部

TEL: 06-6829-2554 (受付時間 平日9:00~17:00)

〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川13-10-62

E-mail: nyu@osaka-seikei.ac.jp

入試情報サイト: https://osaka-seikei-nyushi.jp



びわこ成蹊スポーツ大学  
BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

スポーツ学部

◆スポーツ学科

- 学校スポーツコース
- アスリートコーチングコース
- アウトドアスポーツコース
- スポーツ政策・文化コース
- スポーツビジネス・メディアコース
- スポーツパフォーマンス分析コース
- トレーニング科学コース
- 健康・スポーツ医科学コース

◆大学院スポーツ学研究科



大阪成蹊女子高等学校  
OSAKA SEIKEI GIRLS' HIGH SCHOOL

普通科

- \*総合キャリアコース \*特進コース
- \*英語コース \*看護医療進学コース
- \*幼児教育コース \*スポーツコース
- \*音楽コース

美術科

- \*アート・イラスト・アニメーションコース

お問い合わせ先

びわこ成蹊スポーツ大学 入試部

TEL: 077-596-8425

(受付時間 平日9:00~17:00)

〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204番地

FAX: 077-596-8496 E-mail: nyu@bss.ac.jp



大学ホームページ  
https://biwako-seikei.jp



入試ナビ  
https://bss-nyushi.jp

パソコン・スマホ・ケータイで大学案内・願書などの資料を請求する場合  
https://telemail.jp 資料請求番号: 160891にアクセス

滋賀応援寄附「滋賀県の学校を応援しよう」

※詳細・お申込みはP14をご覧ください。

お問い合わせ先

大阪成蹊女子高等学校 募集広報企画室

TEL: 06-6829-2514

(受付時間 平日8:30~17:00 土曜日8:30~14:00※)

※長期休業中の土曜日は除く

E-mail: bosyu-hig@osaka-seikei.ac.jp



入試情報サイト: https://high.osaka-seikei.jp/ex\_info/

ファミリー奨学金制度のご案内

下記の条件のいずれかに該当し入学された場合、奨学金支給の特典があります。

- ① 父・母・姉・兄のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（ただし幼稚園を除く）の卒業生または在籍生（入学予定者も含む）である方
- ② 姉妹同時に入学される方（姉妹どちらにも適用されます）

※2027年度入試につきましては変更になる場合があります。

「母校応援ふるさと納税制度」※詳細・お申込みはP14をご覧ください。